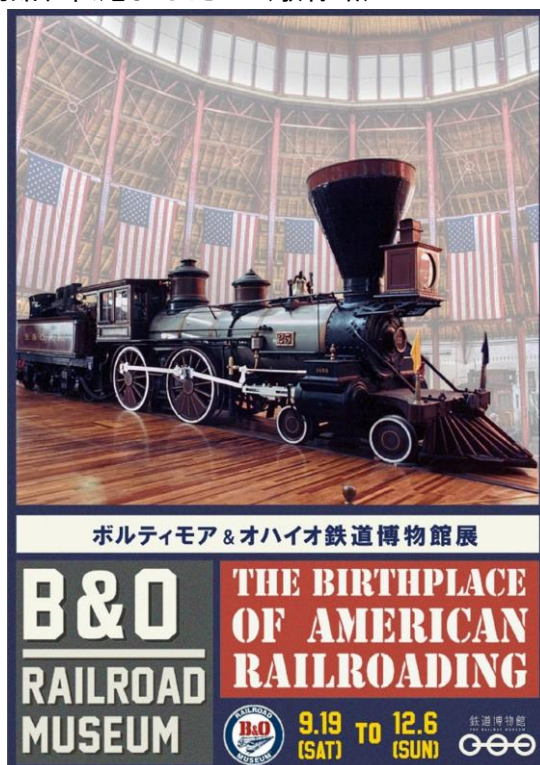


## 企画展「ボルティモア&オハイオ鉄道博物館展」の開催について

- 当館は2014年9月5日にアメリカ合衆国メリーランド州所在のボルティモア&オハイオ鉄道博物館(Baltimore & Ohio Railroad Museum)と姉妹館提携しました。その交流の一環として、同博物館を紹介する企画展を開催いたします。
- 同博物館は、米国における鉄道発祥の地に位置し、200両におよぶ車両や多数の鉄道に関する資料を収蔵している、大変由緒ある博物館です。本展では、同博物館の紹介とあわせて、独立戦争ゆかりの地であるボルティモア市についても紹介し、皆様をボルティモアの旅へと誘います。
- 10月23日(金)に姉妹館提携の友好の証として作成した銘板の除幕式を開催いたします。

- 会 期 2015年9月19日(土)～2015年12月6日(日)
- 会 場 鉄道博物館2F スペシャルギャラリー2
- 入 場 料 鉄道博物館の入館料のみで、企画展もご覧いただけます。  
※ 鉄道博物館の入館料は、一般1,000円、小中高生500円、  
幼児(3歳以上未就学児)200円です。
- 主 催 鉄道博物館
- 協 力 ボルティモア&オハイオ鉄道博物館、松尾よしたか(敬称略)
- 主な内容 別 紙  
※ 銘板の除幕式については  
別途お知らせいたします。

なお、本件プレスリリースは、  
ときわクラブ、  
丸の内記者クラブ、  
JR記者クラブ、  
埼玉県政記者クラブ、  
さいたま市政記者クラブ  
にお届けしております。



画像はイメージです

## ■主な展示内容

本展では、写真主体の解説パネルを中心に、一部映像を交えた展示を展開します。

### 1. ボルティモア&オハイオ鉄道博物館の紹介

ボルティモア&オハイオ鉄道博物館は、北米大陸の鉄道発祥の地に 1958 年に開館した由緒ある鉄道博物館です。

16 ヘクタール（東京ドーム 3.5 個分）の広大な敷地には、「ラウンドハウス」など 19 世紀から 20 世紀にかけて駅や車両工場として建設された 5 棟の建物が現存します。また 200 両におよぶ保存車両の中には、全長 38 メートルを超える巨大な蒸気機関車や、当館が所蔵する開拓使号客車にそっくりな客車があります。

ボルティモア&オハイオ鉄道博物館の由緒ある建物や所蔵車両を様々な角度からご紹介いたします。



代表的な建物のひとつ  
1884年に建設されたラウンドハウス外観



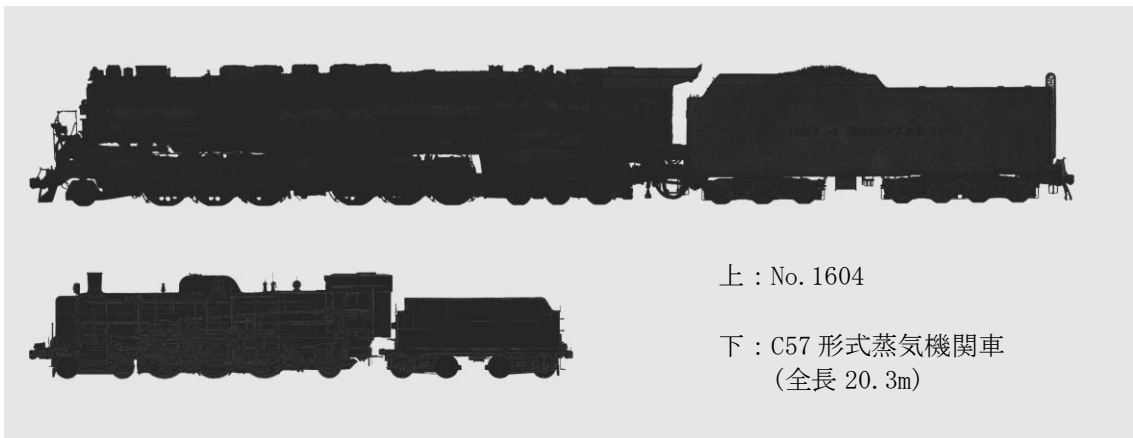
客車工場として稼働していた頃の  
ラウンドハウス内部



開拓使号にそっくりな No. 21 客車 1868 年製



全長 38m を越える巨大な蒸気機関車  
No. 1604 1941 年製

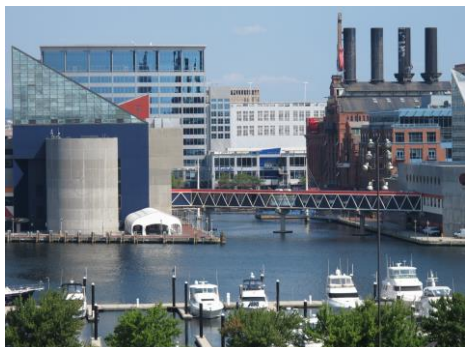


上：No. 1604

下：C57 形式蒸気機関車  
(全長 20.3m)

## 2. ボルティモア市の紹介

ボルティモア市は古くは独立戦争ゆかりの地であり、近年は港湾地区の再開発に成功し、歴史を感じさせる建物と近代的なビルディングが肩を並べる個性的なウォーターフロントを擁しています。歴史にあふれモダンなボルティモア市をご紹介します。



近代的な水族館(左)と  
旧発電所を利用したショップ



ウォーターフロントを望む



1856年に立てられた灯台

## 3. 北米を代表する鉄道博物館と動態保存車両の紹介

ボルティモア&オハイオ鉄道博物館以外にも米国には大きな鉄道博物館が存在します。蒸気機関車も多数が動態保存されています。それらの中で代表的なものをご紹介します。[この項の画像4枚は、松尾よしたか氏提供]



カリフォルニア州鉄道博物館



ペンシルヴェニア鉄道博物館



ノーフォーク&ウェスタン鉄道 611号



ユニオンパシフィック鉄道 844号